



## 2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年2月9日

上場会社名 デリカフーズホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 3392 URL <https://www.delica.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大崎 善保

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 仲山 紺之

TEL 03-3858-1037

四半期報告書提出予定日 2022年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	29,512	25.1	348		224		411	
2021年3月期第3四半期	23,582	24.0	1,142		782		591	

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 439百万円 ( %) 2021年3月期第3四半期 527百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	27.85	
2021年3月期第3四半期	40.11	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	22,667	6,603	29.1
2021年3月期	22,632	7,116	31.4

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 6,603百万円 2021年3月期 7,116百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		5.00	5.00
2022年3月期		0.00			
2022年3月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	10.3	60		100		80		5.42
	~ 37,000	~ 16.6	~ 460		~ 500		~ 450		~ 30.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2022年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大による事業環境の変化による影響を鑑み、レンジ形式により開示しております。

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	14,872,000 株	2021年3月期	14,872,000 株
期末自己株式数	2022年3月期3Q	108,764 株	2021年3月期	108,764 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	14,763,236 株	2021年3月期3Q	14,758,535 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(追加情報)	8
3. その他	9
(1) 最近における四半期毎の業績推移	9
(2) 部門別売上高の状況	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2021年4月1日～同年12月31日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言発令やまん延防止等重点措置の適用が断続的に行われ厳しい状態が続きましたが、10月以降には緊急事態宣言が全国的に解除され、個人消費、設備投資、生産などは段階的な持ち直しの動きが見られました。しかしながら、足下ではオミクロン株による感染の再拡大や世界的なインフレに伴う原材料の上昇など経営環境の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの属する食品関連業界におきましても、ファーストフードなどの一部の業態ではコロナ禍前の売上を上回る業態もありましたが、多くの飲食業者においては客足の戻りが緩やかな状況であることに加えて、一斉に営業を再開したことによる労働力不足が発生するなど、依然として厳しい事業環境が続いております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、従業員や取引先様等の感染防止を最優先としながら、新規・深耕の営業活動を引き続き積極的に展開し、テイクアウト、ドライブスルー、宅配・デリバリー、専門店等のコロナ禍に強い業態や、既存外食以外の中食、小売・量販、給食等への拡販に注力いたしました。更に、営業を再開したり客足が戻りつつある飲食業者の需要増加にも積極的に対応いたしました。

また、2021年5月に発表しました新中期経営計画「Transformation 2024」につきましても、基本方針である「事業ポートフォリオの変革」、「青果物流通インフラの構築」、「サステナビリティ経営の推進」を実現すべく、それぞれの施策を推進しているところです。特に新規・深耕の営業活動では、計画を上回るスピードで事業ポートフォリオの変革を進めているとともに、アフターコロナに向けた社内体制整備やフードロスに配慮した商品ラインナップの充実に注力しております。

このような活動強化を推し進めた結果、当第3四半期（3ヶ月間）の売上高は11,394百万円（前年同期比19.4%増）、経常利益386百万円（前年同期比66.2%増）と四半期ベースで過去最高となりました。なお、当第3四半期連結累計期間における売上高は29,512百万円（前年同四半期比25.1%増）となりました。利益につきましては、営業損失は348百万円（前年同四半期は1,142百万円の営業損失）、経常損失は224百万円（前年同四半期は782百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は411百万円（前年同四半期は591百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）と上期の損失を第3四半期にて大きく挽回しましたが、黒字回復までには至りませんでした。

尚、一昨年より開始したBtoCビジネスでは、デリカフーズ長崎株式会社の宅配業者向けミールキット製造販売事業に加え、昨年8月に新規設立した楽彩株式会社での一般消費者向けミールキット試験販売開始と、新規ビジネスの展開を着実に進めており、今期の部門売上高は計画を上回る15億円程度を見込んでおります。今後も経営環境の変化に柔軟に対応しながら、より一層のグループ体制強化を推し進めることで、当社のコアビジネスである青果物流通事業を発展させてまいります。

### (2) 財政状態に関する説明

流動資産は、前連結会計年度末に比べて3.0%増加し、9,173百万円となりました。これは、主として現金及び預金が1,408百万円減少した一方、売掛金が1,749百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.7%減少し、13,493百万円となりました。これは、主として土地が155百万円増加した一方、建物及び構築物が262百万円、投資その他の資産の「その他」が125百万円減少したことなどによります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.2%増加し、22,667百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて15.5%増加し、8,038百万円となりました。これは、主として買掛金が668百万円、未払金が375百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて6.2%減少し、8,025百万円となりました。これは、主として長期借入金が518百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて3.5%増加し、16,063百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて7.2%減少し、6,603百万円となりました。これは、主として利益剰余金が484百万円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績及び今後の見通しを検討した結果、現時点におきまして2021年5月11日発表の業績予想に変更はありません。

なお、今後業績予想に修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,641,473	3,233,292
売掛金	3,639,908	5,389,378
商品及び製品	143,311	239,594
仕掛品	8,111	11,359
原材料及び貯蔵品	97,921	169,307
その他	375,096	133,740
貸倒引当金	△2,716	△3,144
流動資産合計	8,903,106	9,173,528
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,285,668	6,023,014
土地	3,759,269	3,914,760
その他（純額）	2,365,564	2,356,494
有形固定資産合計	12,410,502	12,294,270
無形固定資産		
その他	73,724	78,854
無形固定資産合計	73,724	78,854
投資その他の資産		
その他	1,249,742	1,123,995
貸倒引当金	△4,179	△3,387
投資その他の資産合計	1,245,563	1,120,608
固定資産合計	13,729,790	13,493,732
資産合計	22,632,897	22,667,260

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,856,596	2,524,959
短期借入金	2,200,000	2,200,000
1年内返済予定の長期借入金	1,199,140	1,218,318
未払法人税等	26,183	5,586
未払金	1,327,674	1,702,754
賞与引当金	97,670	21,906
その他	250,544	365,055
流動負債合計	6,957,811	8,038,580
固定負債		
長期借入金	7,604,300	7,085,553
退職給付に係る負債	142,664	157,453
資産除去債務	291,903	292,979
その他	519,432	489,155
固定負債合計	8,558,300	8,025,142
負債合計	15,516,111	16,063,723
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,377,113	1,377,113
資本剰余金	2,171,446	2,171,446
利益剰余金	3,420,932	2,935,979
自己株式	△24,808	△24,808
株主資本合計	6,944,684	6,459,731
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	160,630	140,938
退職給付に係る調整累計額	11,470	2,867
その他の包括利益累計額合計	172,101	143,805
純資産合計	7,116,785	6,603,537
負債純資産合計	22,632,897	22,667,260

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
売上高	23,582,417	29,512,416
売上原価	18,953,037	23,639,448
売上総利益	4,629,379	5,872,967
販売費及び一般管理費	5,771,395	6,221,717
営業損失(△)	△1,142,015	△348,749
営業外収益		
受取利息	1,677	1,608
受取配当金	2,815	2,645
物品売却益	7,094	10,429
受取賃貸料	30,385	32,271
助成金収入	335,499	80,588
その他	20,523	25,470
営業外収益合計	397,996	153,014
営業外費用		
支払利息	24,842	25,702
休止固定資産減価償却費	8,757	—
その他	5,054	2,876
営業外費用合計	38,653	28,579
経常損失(△)	△782,673	△224,314
特別利益		
固定資産売却益	171	53
投資有価証券売却益	136	—
保険解約返戻金	140	—
特別利益合計	447	53
特別損失		
固定資産除却損	2,996	2,931
投資有価証券売却損	665	—
投資有価証券評価損	—	10,500
不動産取得税等	21,958	7,353
操業休止関連費用	6,420	—
訴訟関連損失	—	19,621
その他	970	—
特別損失合計	33,011	40,407
税金等調整前四半期純損失(△)	△815,237	△264,667
法人税等	△223,291	146,469
四半期純損失(△)	△591,945	△411,137
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△591,945	△411,137

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純損失(△)	△591,945	△411,137
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	68,440	△19,692
退職給付に係る調整額	△4,061	△8,602
その他の包括利益合計	64,378	△28,295
四半期包括利益	△527,566	△439,432
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△527,566	△439,432
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

### (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準等第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、収益認識会計基準等の適用による、当第3四半期連結累計期間の損益及び期首利益剰余金に与える影響はありません。

また、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載していません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書に記載いたしました新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定に重要な変更はありません。

3. その他

(1) 最近における四半期毎の業績推移

2022年3月期(連結)

(単位:千円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
売上高	8,578,214	9,539,638	11,394,562	
営業利益又は損失(△)	△282,168	△427,791	361,210	
経常利益又は損失(△)	△219,859	△391,238	386,784	
親会社株主に帰属する四半期純利益又は損失(△)	△322,113	△445,887	356,863	
1株当たり四半期純利益又は損失(△)	△21.82円	△30.20円	24.17円	
総資産	22,315,115	21,858,619	22,667,260	
純資産	6,714,353	6,295,915	6,603,537	
1株当たり純資産	454.80円	426.46円	447.30	

2021年3月期(連結)

(単位:千円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
売上高	5,459,812	8,582,900	9,539,704	8,143,253
営業利益又は損失(△)	△1,058,086	△296,135	212,206	△325,314
経常利益又は損失(△)	△755,719	△259,715	232,761	△249,104
親会社株主に帰属する四半期純利益又は損失(△)	△600,752	△175,712	184,519	△361,345
1株当たり四半期純利益又は損失(△)	△40.72円	△11.91円	12.50円	△24.48円
総資産	22,451,466	22,470,731	22,873,119	22,632,897
純資産	7,386,408	7,235,113	7,427,690	7,116,785
1株当たり純資産	500.65円	490.08円	503.12円	482.06円

(2) 部門別売上高の状況

	2021年3月期 第3四半期 (自2020年4月1日) (至2020年12月31日)		2022年3月期 第3四半期 (自2021年4月1日) (至2021年12月31日)		比較増減 (千円)	比較増減 (%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)		
カット野菜部門	10,984,673	46.6	13,915,064	47.2	2,930,390	26.7
ホール野菜部門	9,779,206	41.5	10,900,516	36.9	1,121,309	11.5
その他部門	2,818,536	11.9	4,696,835	15.9	1,878,299	66.6
合計	23,582,417	100.0	29,512,416	100.0	5,929,999	25.1